

## クリニックと訪問看護師の連携

# コロナ患者の自宅療養を支えるために

## コロナ陽性患者訪問診療の経験

7月から始まった新型コロナウイルス感染症の第5波では、大阪での一日の新規感染者数が3000人を超え、第4波ピーク時の2倍以上となりました。

第5波は第4波に比べ、中年以下の若い人の発症が多く、在宅療養患者数はそれまでの数より、かなり多い状況となりました。そのため医療体制は危機的状況とな

り、本来であれば入院適用となる中等症の方も入院できず、保健所からの連絡も遅れがちとなり、自宅でお亡くなりになるケースが流れました。同仁会は、自宅で療養される方へ医療を届ける方針をたて、臨時往診に取り組みました。みみはら在宅クリニックの、経験を報告させていただきます。

### 不安ばかりの 自宅療養

往診は8月下旬より3件で、人数は5人でした。1件目は母親と娘2人の3人で、家庭内感染

のご家庭でした。母親は入院をした方が良い中等症状態であったのですが、子ども2人のことが心配で、自宅療養をされておられました。そんな中、往診にうかがうと、

「家庭内で酸素もすえるし、点滴もしてくれらるんですね」と、それまでは子

どもたちのために気を張っていたのでしうか、一気に安心感が出たようで、泣き崩れるような状況でした。結局、母親は、往診2日後に入院されました。



みみはら在宅クリニックのみなさん



次の往診までは、訪問看護師が毎日訪問して状態の報告をしてくれており、クリニックも安心してフォローが出来ました。母親からはその後、「あの時は、あのまま死んでしまうかと思っていました」との報告を受けました。加えて現状では後遺症もひどく、ご家族全員が現在も、味覚嗅覚障害で悩んでおられるようです。

### 往診医を 探すのに苦労

2件目、3件目は30代の女性でした。それぞれの方には投薬と点滴など何とか入院せず、経過

を診ることができました。保健所の職員も日々たいへんで、この3件のうち2件は北区の方でしたが、往診医を探すのに苦労されていたようでした。

これからも、みみはら在宅クリニックは訪問看護師さんたちとともに、地域の健康を守るように頑張っていきます。

(みみはら在宅クリニック所長 奥村伸二)

## 既卒看護師募集

2022年4月入職  
希望者も受付中

- 〈耳原総合病院〉  
手術室、透析室、急性期病棟、回復期リハビリ病棟で勤務できる方
- 〈訪問看護ステーション〉  
西区、堺区、北区の3カ所のステーションのいずれかで勤務できる方
- 〈鳳クリニック〉  
医師と一緒に往診勤務ができる方

### 面接は随時受けつけています

いずれの事業所もお問い合わせは、耳原総合病院看護採用担当まで。  
電話：072-241-0501(代表) メール：kangakusei@mimihara.or.jp

耳原総合病院  
ホームページ



耳原総合病院では、下記日程で面接を予定しています。(他、相談に応じます)

- 11月11日(木) 午前
- 12月9日(木) 午後
- 2022年1月20日(木) 午後
- 2022年2月10日(木) 午後

耳原鳳クリニック  
ホームページ



### 耳原訪問看護ステーション

- ◆訪問看護ステーションふれあい  
堺市北区蔵前町3-5-4
- ◆訪問看護ステーションみなと  
堺市堺区旭ヶ丘中町2丁1-7
- ◆訪問看護ステーション  
堺市西区鳳南町5丁595

## 同仁会 新型コロナウイルス感染症 抗原検査・PCR検査実施状況

同仁会では、大阪府・堺市の要請に応じて、帰国者・接触者外来および発熱外来を開設し、検査を行って来ました。

### 検査数(抗原・PCR)

耳原総合病院	約9,150件
診療所合計	約2,200件